



「報告」6月定例市議会

6月11日に開会された定例市議会は、提案された33件の議案すべてが賛成多数、または全員賛成で可決されました。日本共産党市議団は33件のうち5件に反対しました。

これまでの保育の水準を守り

充実を!

対峙しました。

2重3重の庶民増税

子ども・子育て関連3法の施行により、保育や幼稚園が新しいシステムになります。来年4月から実施に向けて、和歌山市はこの6月議会で条例化しますが、大切なのは市がどのような基準で保育をするかということです。

国の地方税法の改正に伴い軽自動車税が引き上げられます。軽4輪の自家用車は現在の72000円が108000円に、原付は10000円が20000円に、125cc〜250ccの二輪車は24000円が36000円に。2015年4月以降に新規検査

件となっていたにもかかわらず、小規模の運営ならば保育士の人数を半分満たしていれば良いという国の基準をそのまま当てはめる内容となつ

ています。2015年4月以降に新規検査を受けるものからこの税率で適用されます。消費税増税に加え、これは庶民へのさらなる増税と言わざるを得ず反対しました。



暑い夏がもう目の前まで迫っています。梅雨の最中ですが、今は中休みでし

ようか。しばらく晴天が続くようです。洗濯物と格闘する毎日

は、お天気の行方に一喜一憂、余裕なんてない、というのが本音です。それでも、自転車で町内を回っているときは、あじさいの色や田んぼの稲の成長などに少しは目が行き、季節の流れを感じることも。



◆お知らせ◆

7月の法律相談

7月16日(水) 18:00~

7月28日(月) 13:00~

いずれも花山の森下さち子事務所にて事前に予約が必要です。

電話 435-1113

(市役所市議団控室 直通)

市長選挙と市議補選の決起集会

日本共産党東部後援会

7月13日(日) 14:00~

民商会館にて

中津たかしさん(市長予定候補)、中村あさとさん(市議予定候補)が決意表明を行います。

みなさんのご参加をお待ちしております



8月3日告示 8月10日投票

市長選挙に 中津たかしさん



「活気ある住みよい和歌山市をつくる会」は6月19日記者会見を行い、8月10日投票の市長選挙に中津たかしさんを候補者として擁立すると発表しました。

中津たかしさんは1947年生まれ1999年と2000年に和歌山県知事選挙に立候補したことがあります。JAの職員から農民連の専従職員となり農業の専門家としてがんばってこられました。現在は和歌山県農民連の顧問。日本共産党は「活気ある住みよい和歌山市をつくる会」とともに中津たかしさんを推薦し奮闘します。みなさんのご支援、どうかよろしくお願いします。



「活気ある住みよい和歌山市をつくる会」と中津たかしさんの政策

- ☆高い国保料・介護保険料を引き下げます。
- ☆子どもの医療費無料制度を中学校卒業までの制度に拡充します。
- ☆住宅リフォーム助成制度を作ります。
- ☆滝畑(山口地区)の産業廃棄物処分場計画は反対です。

【一般質問】森下さちこは毎回質問に立ち、がんばっています！



学童保育の充実を

52校全小学校区に設置された学童保育ですが、地域によつては希望が多く入所できないというところがあります。

この4月当初の申し込みで9校43人の児童が入所できず待機となってしまったことが明らかになりました。すでに3月時点で抽選しないと定員を超えることが分かっている小学校があり、希望者全員を入所させて欲しいという保護者と青少年課と話し合ったことを紹介し、受け皿が足りない状態をもっと早く改善するべきだと求めました。

市は小学校の児童数の増減推計を考慮し待機児童解消に向けた計画作りを進めると答えました。

指導員の

待遇改善を

学童保育の中で子どもたちに直接関わるのは指導員。異年齢の子どもたちを相手に休憩も取りづらく、安全にも配慮しなければならぬ、肉体的にも精神的にも大変な仕事と言えます。

ところがその仕事内容に見合った待遇とはなっていない。何度もその実態を改善す



議員の発議で提案された条例や意見書の採択

①和歌山市地酒による乾杯の症例および地酒の普及の促進に関する条例

②「手話言語法（仮称）制定を求める意見書

③地域経済の発展と雇用の安定を求める意見書

3つとも全会一致で採択されました。なお、「LNG火力発電所建設を強力に促進する決議」については、賛成多数で可決されましたが、窒素酸化物（NOx）など、新たな公害発生源になることから、共産党議員団は採択に反対しました。

るよう求めてきました。

子ども・子育て関連3法の施行に伴い資格要件を決めて行く中で待遇改善が図られる機会ともなることから、一日も早く改善することを合わせて求めました。

市は、学童保育の充実のためにも指導員の待遇改善を進め、雇用条件の見直しなどの方策を検討するとの答弁がありました。

中学校給食は

全員に提供できるものに

もの

小学校は全員に提供される給食が当たり前になっていますが、中学校は検討委員会です。小学校と同じ給食をとの意見があつたにもかかわらず、経費や全校に早く実施するという理由の下、デリバリー方式（注文して業者が運ぶ）として実施されています。注文した生徒にしか提供されないため、喫食率は20%を切っています。成長の著しい中学生の給食は、教育の一環という点でも最善のものを提供するべきであり、中学校でも全員



「活気ある住みよい和歌山市を作る会」が市長選挙を前にとつたアンケートは、6月19日の立候補記者会見の時点ですでに3500通が返信されていました。それだけ和歌山市の市民のみなさんは切実な要求が渦巻いているということなんです。住んでいるところが安全で住みよい街であってほしいという願いに耳をかたおける市政でなければなりません。

先日、訪問先でお聞きした通学路や道路の安全対策をとという相談に加藤さん（県議予定候補）と協力し、県庁へ出かけ担当者に安全対策の計画を聞きました。市政、県政のチエツクをする議員も大いに使っていただき、まちづくりに役立たせていただきたいと思います。



編集後記

給食の道を探るべきだと求めました。教育長は冬場に冷たい副食を改善して欲しい、喫食率が伸びないなどの課題はあるものの、中学生の成長に必要な栄養基準に基づく給食を提供する点では一定の評価ができます。選択しない生徒や保護者への家庭の食事においても参考になり、食育における意識の向上につながるよう努めるとの答弁にとどまりました。

●10月に行われる県の防災訓練にオスプレイ機が参加。「欠陥機」が知事説明だと「安全」になるのが不思議でならない●不思議なことはいくらでも：東京都議会でのヤジ問題で会派離脱のS議員。責任とるなど平和について強く思う年はない。「2014年平和のための戦争展わかやま」は8月2日、3日、プラザホープ2Fギャラリーで開催。3日は午後1時終了です。(M)